

・教育・保育の量の見込みと確保方策

(1) 保育園、幼稚園等事業

1号認定(3歳以上・教育希望)						担当課:幼児保育課			評価・分析		
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向		
見 込 み	見込児童数	1,577	1,549	1,155	1,121	1,047	1,001	972	□順調 ■横ばい □順調でない		
	定員	1,846	1,846	1,788	1,788	1,788	1,385	1,385	次年度にむけての課題		
	過不足	269	297	633	667	741	384	413	□あり(重大) ■あり □なし		
実 績	申込児童数		1,517	1,317	1,237	1,201	883	1,004	866		
	定員		1,846	1,653	1,636	1,604	1,239	1,412	1,417		
	過不足		329	336	399	403	356	408	551		
	内 訳	特定教育・ 保育施設	申込児童数	0	0	231	208	277	298		260
			施設の定員	0	0	282	272	430	441		445
			過不足	0	0	51	64	153	143		185
			保育士不足による 受入定員減	0	0	0	0	0	0		0
			実際の定員	0	0	282	272	430	441		445
			過不足	0	0	51	64	153	143		185
			利用児童数	0	0	231	208	277	298		260
	確認を受けない 幼稚園	申込児童数	1,517	1,317	1,006	993	606	706	606		
		施設の定員	1,846	1,653	1,354	1,332	809	971	972		
	幼稚園及び 預かり保育	申込児童数	0	0	0	0	0	0	0		
		施設の定員	0	0	0	0	0	0	0		

【備考】

※特定教育・保育施設・・・幼稚園、認定こども園、保育所

※確認を受けない幼稚園・・・子ども・子育て支援新制度における給付対象施設としての確認を受けない旨の申出を行った幼稚園

※特定地域型保育事業・・・小規模保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業

※「実際の定員」は、保育士数による受入可能な人数です。(「施設の定員」から保育士不足により受入減となった人数)

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

1号認定の申込児童数について、見込みに対し、実績が106人減となっている。女性の就労率の増加に伴い、保育認定のニーズが高まっているためと考える。今後は、認定こども園等への移行を希望する幼稚園に対し、移行支援を行うとともに、市民に対し、幼稚園の無償化制度等のPRを行っていく。

2号認定(3歳以上・保育が必要)						担当課:幼児保育課			評価・分析		
年度			H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見 込 み	見込児童数		1,718	1,692	2,119	2,105	2,013	1,969	1,957	□順調 ■横ばい □順調でない	
	定員		1,984	1,984	2,138	2,138	2,138	2,466	2,466	次年度にむけての課題	
	過不足		266	292	19	33	125	497	509	□あり(重大) □あり ■なし	
実 績	申込児童数		1,722	1,950	1,936	1,927	2,057	1,840	1,771		
	定員		1,984	2,234	2,300	2,105	2,552	2,267	2,313		
	過不足		262	284	364	178	495	427	542		
	内 訳	特定教育・ 保育施設	申込児童数	1,722	1,757	1,748	1,700	1,663	1,622		1,566
			施設の定員	1,984	2,041	2,112	2,105	2,158	2,049		2,108
			過不足	262	284	364	405	495	427		542
			保育士不足による 受入定員減	29	33	77	69	149	119		146
			実際の定員	1,955	2,008	2,035	2,036	2,009	1,930		1,962
			過不足	233	251	287	336	346	308		396
			利用児童数	1,721	1,757	1,745	1,698	1,660	1,619		1,565
	幼稚園及び 預かり保育	申込児童数	0	193	188	227	394	218	205		
施設の定員		0	193	188	227	394	218	205			

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

2号認定の申込児童数について、見込みに対し、実績が186人減となっている。出生児童数の減少に伴い、3歳以上児の申込児童数については減少したものとする。必要な保育ニーズに対応できている状況となっているが、今後、開発工事等で入所希望者数が増加することが想定されるため、引き続き、定員を確保していく。

3号認定(3歳未満・保育が必要)						担当課:幼児保育課			評価・分析			
年度			H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向		
0歳児	実績	見込み	見込児童数	180	195	215	227	238	250	263	□順調 □横ばい ■順調でない	
			定員	195	213	217	229	241	249	249	次年度にむけての課題	
			過不足	15	18	2	2	3	▲1	▲14	□あり(重大) ■あり □なし	
	実績		申込児童数	235	224	230	246	220	209	213		
			施設の定員	190	205	219	233	239	240	246		
			過不足	▲45	▲19	▲11	▲13	19	31	33		
			保育士不足による 受入定員減	4	10	16	34	44	52	58		
			実際の定員	186	195	203	199	195	188	188		
			過不足	▲49	▲29	▲27	▲47	▲25	▲21	▲25		
		内訳	特定教育・ 保育施設	申込児童数	217	190	186	188	156	148		151
				施設の定員	172	172	175	175	175	178		184
				過不足	▲45	▲18	▲11	▲13	19	30		33
				保育士不足による 受入定員減	4	10	16	34	44	52		58
				実際の定員	168	162	159	141	131	126		126
				過不足	▲49	▲28	▲27	▲47	▲25	▲22		▲25
			特定地域型 保育事業	申込児童数	167	158	154	141	130	124		126
				申込児童数	18	34	44	58	64	61		62
	施設の定員	18	33	44	58	64	62	62				
1・2歳児	実績	見込み	見込児童数	912	961	974	971	999	1,007	1,013		
			定員	920	978	1,005	1,005	1,005	1,110	1,110		
			過不足	8	17	31	34	6	103	97		
	実績		申込児童数	921	911	871	876	889	877	991		
			施設の定員	948	979	1,011	1,035	1,060	1,064	1,071		
			過不足	27	68	140	159	171	187	80		
			保育士不足による 受入定員減	25	57	110	140	170	189	157		
			実際の定員	923	922	901	895	890	875	914		
			過不足	2	11	30	19	1	▲2	▲77		
		内訳	特定教育・ 保育施設	申込児童数	885	843	774	760	751	740	844	
				施設の定員	909	898	903	903	915	917	923	
				過不足	24	55	129	143	164	177	79	
				保育士不足による 受入定員減	25	57	110	140	170	189	157	
				実際の定員	884	841	793	763	745	728	766	
				過不足	▲1	▲2	19	3	▲6	▲12	▲78	
			特定地域型 保育事業	申込児童数	860	824	755	745	725	715	771	
				申込児童数	36	68	97	116	138	137	147	
	施設の定員	39	81	108	132	145	147	148				
※認可外保育施設に入所した方は、申込児童数から除いています。												
認可外保育施設入所者数			H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)			
0歳児			3	6	0	5	0	6	3			
1・2歳児			0	0	0	0	0	0	17			

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

保育士不足による受入定員数が減となったことで、申込児童数に対し、定員数が不足している状況となっている。保育士不足による受入制限をすることがないよう保育士の確保に取り組んでいく。また、今後、開発工事等で入所希望者数が増加することが想定されるため、民間保育事業者と連携して、定員の増加に向けて取り組んでいく。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	保育園管理運営経費【幼児保育課】	152,420	149,476	154,382	168,138	155,435	172,407
02	保育所等整備補助事業【幼児保育課】	559,766	33,000	20,707	96,716	221,913	0
	合計	712,186	182,476	175,089	264,854	377,348	172,407

・地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

(1)		延長保育事業				担当課:幼児保育課		
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
見込み	利用児童数	946	946	974	975	966	963	967
	実施箇所数	23か所	25か所	29か所	31か所	33か所	34か所	34か所
	提供量	946	946	974	975	966	963	967
	過不足	0	0	0	0	0	0	0
実績	利用児童数	884	970	815	811	755	734	768
	実施箇所数	23か所	26か所	29か所	31か所	32か所	33か所	34か所
	提供量	884	970	815	811	755	734	768
	過不足	0	0	0	0	0	0	0

評価・分析
成果動向
☐ 順調 ☒ 横ばい ☐ 順調でない
次年度にむけての課題
☐ あり(重大) ☐ あり ☒ なし

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

延長保育事業の申込児童数について、見込みに対し、実績が199人減となっている。女性の就労率の増加に伴い、延長保育のニーズは高まっているものの、パートタイムなどの短時間勤務が多く、想定より減となったものとする。今後も、様々な保育ニーズに対応していくため、引き続き、延長保育事業の定員を確保していく。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	早朝延長保育事業【幼児保育課】	206,404	213,932	210,688	214,097	208,443	251,838
02	私立保育所早朝保育等事業費補助事業【幼児保育課】		2,046	2,810	3,644	4,176	5,978
合計		206,404	215,978	213,498	217,741	212,619	257,816

(2)	放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)					担当課:こども課 社会教育課			
年度			H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
見込み	利用 児童数	1年	807	817	319	319	334	320	305
		2年			238	253	242	253	243
		3年			197	186	189	181	189
		4年	87	97	88	89	85		
		5年	150	150	36	36	39	35	36
		6年			8	9	9	9	8
	計	957	967	885	900	901	887	866	
	実施箇所数		15か所	15か所	16か所	16か所	16か所	16か所	16か所
	提供量		1,163	1,163	1,460	1,460	1,460	1,475	1,475
過不足		206	196	575	560	559	588	609	
実績	利用 児童数	1年	711	775	246	295	327	319	308
		2年			227	191	237	280	283
		3年			140	155	139	154	190
		4年	94	91	59	70	83	70	85
		5年			24	35	45	50	43
		6年			11	13	21	31	30
	計	805	866	707	759	852	904	939	
	実施箇所数		15か所	15か所	16か所	16か所	16か所	16か所	16か所
	提供量		1,436	1,642	1,661	1,819	1,880	1,937	1,973
	過不足		631	776	954	1,060	1,028	1,033	1,034

評価・分析
成果動向
☐ 順調 ☒ 横ばい ☐ 順調でない
次年度にむけての課題
☐ あり(重大) ☒ あり ☐ なし

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

在籍児童数が多く、登録児童の増加が見込まれる小学校においては、実施施設等の検討が必要である。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	放課後児童健全育成事業【社会教育課】	117,142	131,475	131,482	137,008	145,998	186,353
02	放課後児童健全育成事業補助事業【こども課】	22,881	39,324	31,420	34,938	36,498	40,232
合計		140,023	170,799	162,902	171,946	182,496	226,585

(3)		子育て短期支援事業				担当課:こども課			評価・分析	
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み	延べ利用者数	20	20	20	20	20	20	20	□順調 ■横ばい □順調でない	
	実施箇所数	4か所	4か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	次年度にむけての課題	
	定員	20	20	20	20	20	20	20	□あり(重大) ■あり □なし	
	過不足	0	0	0	0	0	0	0		
実績	利用児童数	ショートステイ	7	7	26	11	12	15	10	
		トワイライトステイ	0	0	0	0	0	0	0	
	実施箇所数		5か所	6か所	2か所	1か所	1か所	2か所	1か所	
	定員		7	7	26	11	12	15	10	
	過不足		0	0	0	0	0	0	0	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策									
乳児院等の施設と契約により実施しており、施設の利用状況によっては受入不可となる場合があるため、契約施設数を増やしていく必要がある。									

▶ 量の確保実現のための財源投入状況							(単位:千円)
No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	子育て短期支援事業【こども課】	39	278	121	132	182	110
合計		39	278	121	132	182	110

(4)		地域子育て支援拠点事業				担当課:こども課			評価・分析	
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み	利用児童数	7,178	7,016	8,016	8,065	8,114	8,163	8,212	□順調 ■横ばい □順調でない	
	提供量 (箇所数)	子育て支援センター		3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	次年度にむけての課題	
		児童館		14か所	14か所	14か所	14か所	13か所	□あり(重大) ■あり □なし	
実績	利用児童数	7,919	6,876	3,870	4,236	5,081	5,531	5,872		
	提供量 (箇所数)	子育て支援センター		3か所	3か所	3か所	3か所	3か所		
		児童館		14か所	14か所	14か所	14か所	13か所		

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策									
新型コロナウイルスの影響により中止、縮小していた行事を年度当初から制限なく実施できたことにより、利用児童数は回復傾向にある。児童館では令和7年度から乳幼児親子を対象とした新規事業を実施するなど、引き続き魅力あるイベントの企画や積極的なPRにより、安心して来所し、交流・相談ができる場の提供を行っていく。									

▶ 量の確保実現のための財源投入状況							(単位:千円)
No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	子育て総合支援センター管理運営経費【こども課】	28,993	31,246	30,680	31,605	29,791	35,721
02	北部子育て支援センター管理運営経費【こども課】	8,867	10,086	9,431	9,962	10,574	13,999
03	南部子育て支援センター管理運営経費【こども課】	6,743	10,509	10,698	10,671	11,274	14,421
04	児童館管理運営経費【こども課】	97,929	105,637	112,215	114,469	113,085	151,335
05	児童館維持補修事業【こども課】	0	4,604	4,666	3,346	3,890	4,515
合計		142,532	162,082	167,690	170,053	168,614	219,991

(5)		幼稚園等における一時預かり事業				担当課:幼児保育課			評価・分析	
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み	利用児童数	1号認定	2,897	2,845	1,568	1,522	1,422	1,360	1,321	□順調 ■横ばい □順調でない 次年度にむけての課題 □あり(重大) □あり ■なし
		2号認定	59,175	58,123	44,111	44,116	42,472	41,851	41,888	
		計	62,072	60,968	45,679	45,638	43,894	43,211	43,209	
	実施箇所数		5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	
	定員		61,250	61,250	60,912	60,912	60,912	60,912	60,912	
	過不足		▲ 822	282	15,233	15,274	17,018	17,701	17,703	
実績	利用児童数	在園児	26,107	30,847	28,457	27,657	34,994	33,755	31,761	
		在園児以外	0	0	0	0	0	0	0	
	実施箇所数		5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	
	定員		61,250	61,250	60,912	60,912	60,912	60,912	60,912	
	過不足		35,143	30,403	32,455	33,255	25,918	27,157	29,151	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策									
幼稚園等における一時預かり事業については、定員が利用児童数を上回っており、必要なニーズに対応できている状況である。引き続き、一時預かり事業の定員を確保していく。									

(6)		保育園・ファミリー・サポート・センター事業 (就学前児童)などにおける一時預かり事業				担当課:幼児保育課 こども課		
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
見 込 み	利用児童数	14,328	13,982	2,897	2,918	2,955	2,931	2,909
	実施箇所数	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所
	定員	11,160	11,160	936	936	936	936	936
	子育て支援センター	3,192	3,192	3,192	3,192	3,192	3,192	3,192
	ファミリー・サポート・センター	2,256	2,256	1,584	1,584	1,584	1,584	1,584
	計	16,608	16,608	5,712	5,712	5,712	5,712	5,712
過不足		2,280	2,626	2,815	2,794	2,757	2,781	2,803
実 績	利用児童数	385	397	145	139	146	170	194
	子育て支援センター	1,295	1,065	600	617	925	896	1,116
	ファミリー・サポート・センター	1,199	1,105	964	196	27	225	160
	計	2,879	2,567	1,709	952	1,098	1,291	1,470
	実施箇所数	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所
	定員	10,512	10,440	10,548	10,548	10,548	10,548	10,548
	子育て支援センター	3,192	3,033	3,075	3,044	3,047	3,055	3,039
	ファミリー・サポート・センター	1,584	1,572	1,260	1,212	1,224	1,296	1,320
	計	15,288	15,045	14,883	14,804	14,819	14,899	14,907
	過不足	12,409	12,478	13,174	13,852	13,721	13,608	13,437

評価・分析
成果動向
□順調 ■横ばい □順調でない
次年度にむけての課題
□あり(重大) □あり ■なし

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策
 周知啓発によりリフレッシュによる支援センターの一時預かり件数は増加傾向にあるものの、アフターコロナで働き方が多様化し子育て支援制度が拡充されてきたことで、それまで支援制度から外れる部分を補完してきたファミリー・サポート・センターの利用が大幅に減少し、全体的な利用児童数が見込みよりも減少した。今後は、ファミリー・サポート・センターの提供会員の登録条件を緩和することでサポートする側の会員数を増やすこと、広く事業を周知するため妊婦相談などの際にファミリー・サポート・センター事業の案内をしていくことで利用を促していく。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況 (単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	一時的保育事業【幼児保育課】	504	262	248	305	303	410
02	幼児一時預かり事業【こども課】	5,559	6,261	6,341	9,034	9,374	11,552
03	ファミリー・サポート・センター設置事業【こども課】	5,026	6,022	5,794	5,874	6,065	8,219
合計		11,089	12,545	12,383	15,213	15,742	20,181

(7)		病児・病後児保育事業				担当課:幼児保育課		
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
見 込 み	利用児童数	1,018	994	855	857	856	858	852
	実施箇所数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	定員	876	879	876	876	873	876	876
	過不足	▲ 142	▲ 115	21	19	17	18	24
	利用児童数	206	111	42	126	88	166	134
実 績	実施箇所数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	定員	876	870	879	879	879	879	879
	過不足	670	759	837	753	791	713	745

評価・分析
成果動向
□順調 ■横ばい □順調でない
次年度にむけての課題
□あり(重大) □あり ■なし

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策
 病児・病後児保育事業について、定員が利用児童数を上回っており、必要なニーズに対応できている状況である。病気の流行等により利用者のニーズは一時的に集中することもあるため、今後も、病児・病後児保育事業の定員を確保していく。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況 (単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	病児・病後児保育事業【幼児保育課】	6,907	7,375	2,757	1,100	3,927	4,071
合計		6,907	7,375	2,757	1,100	3,927	4,071

※知多市と共同で事業を運営しており、幹事市(持回り制)が2市分の補助金を受取り、幹事市でない市は負担金を支払うため、決算額が年によって変動するもの

(8)		ファミリー・サポート・センター事業(就学児童)				担当課:こども課			評価・分析	
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み	利用児童数	505	505	1,033	1,024	1,024	1,025	1,005	□順調 □横ばい ■順調でない	
	定員	2,256	2,256	1,584	1,584	1,584	1,584	1,584	次年度にむけての課題	
	過不足	1,751	1,751	551	560	560	559	579	□あり(重大) ■あり □なし	
実績	利用児童数	867	722	463	325	128	194	182		
	定員	1,584	1,572	1,260	1,212	1,224	1,296	1,320		
	過不足	717	850	797	887	1,096	1,102	1,138		

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

提供会員の高齢化や活動を見聞きする機会の減少により利用児童数が減少していると考え。提供会員の条件を緩和し、提供会員・依頼会員を増やすよう啓発を行いながら実施していく。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	ファミリー・サポート・センター設置事業【こども課】	5,026	6,022	5,794	5,874	6,065	8,219
合計		5,026	6,022	5,794	5,874	6,065	8,219

(9)		利用者支援事業				担当課:こども課			評価・分析	
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み箇所数		2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	■順調 □横ばい □順調でない	
実績箇所数		2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	次年度にむけての課題	
									□あり(重大) □あり ■なし	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	子育てサービス利用者支援事業【こども課】	4,843	4,844	8,402	8,624	9,001	8,014
合計		4,843	4,844	8,402	8,624	9,001	8,014

(10)		妊婦健康診査				担当課:健康推進課			評価・分析	
年度		H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向	
見込み件数		1,222	1,218	1,064	1,060	1,050	1,042	1,035	■順調 □横ばい □順調でない	
実績件数		1,045	1,009	948	969	925	811	869	次年度にむけての課題	
対象者数		1,063	1,012	979	936	923	839	860	□あり(重大) □あり ■なし	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

妊娠届出及び出産数の減少に伴い対象者数が減少しているが、受診率は高く推移しており順調と考える。今後も受診率を維持し、妊婦の健康推進を図っていく。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	妊産婦・乳児健診事業【健康推進課】	128,157	120,230	124,981	118,429	116,218	111,576
02	妊婦医療助成事業【国保課】	14,044	11,457	13,858	12,988	8,985	9,762
合計		142,201	131,687	138,839	131,417	125,203	121,338

(11)	乳児家庭全戸訪問事業				担当課:健康推進課			評価・分析
年度	H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向
見込み件数	1,081	1,056	1,064	1,060	1,050	1,042	1,035	■順調 □横ばい □順調でない
実績件数	1,009	998	878	942	864	863	794	次年度にむけての課題
対象者数	1,172	1,196	945	983	919	831	850	□あり(重大) □あり ■なし

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

出生数の減少に伴い対象者数が減少している。里帰り先での訪問や疾病等による訪問時期の変更等により受診率が減少しているものの、対象への支援は実施しており順調と考える。今後も全ての乳児に訪問支援を行い健やかな成長への支援を図っていく。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	乳児家庭全戸訪問事業【健康推進課】	4,320	3,445	3,813	3,769	3,329	2,790
	合計	4,320	3,445	3,813	3,769	3,329	2,790

(12)	養育支援訪問事業				担当課:こども課			評価・分析
年度	H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向
見込み件数	433	433	188	188	189	324	323	■順調 □横ばい □順調でない
実績件数	167	287	331	339	242	233	183	次年度にむけての課題
対象者数	25	28	21	39	29	30	20	□あり(重大) □あり ■なし

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

養育支援訪問は令和6年度から養育支援訪問と子育て世帯訪問支援に分かれたため、養育支援訪問としての件数が減少している。また、保護者の就労により低年齢からの入所が増えていることも減少の要因の一つであると考えられる。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	養育支援訪問事業【こども課】	2,881	3,158	4,843	4,883	5,121	4,892
	合計	2,881	3,158	4,843	4,883	5,121	4,892

(13)	実費徴収に係る補足給付を行う事業				担当課:幼児保育課			評価・分析
年度	H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	成果動向
見込み	利用児童数		300	292	274	263	256	□順調 ■横ばい □順調でない
	定員		300	292	274	263	256	次年度にむけての課題
	過不足	0	0	0	0	0	0	□あり(重大) □あり ■なし
実績	利用児童数		271	316	265	237	727	
	定員		271	316	265	237	727	
	過不足	0	0	0	0	0	0	

計画と実績に乖離がある場合、その理由の分析と今後の対応方策

副食費給付制度について、対象者を第2子以降に拡大したことで、実績が大幅に増加した。引き続き、市民の負担軽減を図るため、事業を実施していく。

▶ 量の確保実現のための財源投入状況

(単位:千円)

No	事業名称	H31決算 (2019)	R2決算 (2020)	R3決算 (2021)	R4決算 (2022)	R5決算 (2023)	R6決算 (2024)
01	実費徴収に係る補足給付を行う事業【幼児保育課】		6,939	8,964	8,042	7,489	25,009
	合計	0	6,939	8,964	8,042	7,489	25,009